

東洋大学学術情報リポジトリ Toyo University Repository for Academic Resources

研究例会報告(1973)

雑誌名	アジア・アフリカ文化研究所研究年報
巻	1973
ページ	131-131
発行年	1973
URL	http://id.nii.ac.jp/1060/00010929/

研究例会報告 — 一九七三年度

中華人民共和國成立前後の社会状況を報告し、とくに解放前夜の一般大衆の生活を刻明に描出した。

「宮座の社会人類学的調査 IV」(六月十六日) 研究員 高橋 統一

過去三ケ年に及ぶ滋賀県下の宮座の集中的調査の補足調査を、先に甲賀郡信楽町朝宮と同町多羅尾並びに滋賀郡志賀町北小松で行ったが、今回は更にもう一座、大津市伊香立町南庄で第二次の補足調査を実施した。これは北小松で問題になった明治初年の地租改正に伴う宮座財産(座田、座株)の処分をめぐる座方(株座)と村方(座外)の係争事件に、対比される同様な宮座裁判が同じ頃に南庄であったことが判ったからである。この裁判原本を基礎資料に、加えて裁判以後の宮座の変化を現在まであとづけ、さらに現在の宮座組織と祭儀の実態を春祭を中心に詳細に実地調査したので、その調査概要の報告を行い、研究員諸氏との質疑討論を深めて多大の裨益を得ることができた。これで、予備的広域調査を含め、五カ年に及ぶ宮座の社会人類学的調査は一先ず終了したことになるが(すべてこの研究所年報に発表済み)、それ以前に全体の作業仮説は別の論稿で発表してある。従って、これらにもとづく総体的な研究論文をまとめる段階に、やっと到達したわけである。

「解放前後十年の中国社会」(十一月十七日) 研究員 今富 正己